

12番目の支部・江別支部発足 1300人の同盟北海道へ飛躍を



「9月20日を忘れない集い」での菱谷良一さん（前列中央）

菱谷良一さん、故松本五郎さんらが、生活図画事件で不当な弾圧を受け検挙されたのは1941年9月20日。その恨みの日から81年を迎えました。20日当日、菱谷さんは貧血気味で、病院で輸血をしました。25日にはお元気になられて「恨みの9・20を忘れない集い」を自宅で行いました。

「この日のことを絶対に忘れない」と語り、延期してでも、みんなで集めたいと語っていた菱谷さんにとってはささやかでしたが、元氣の出る集いとなりました。

菱谷さんのお宅に5人が集まり、オンラインで参加した埼玉県在住の長男・菱谷伸市さんや、研究者の川嶋均さんから5人と一緒に、集いを行いました。併せて11月14日には百一歳になる菱谷さんの、ますますのお元気を願う集いとなりました。平山沙織さんと佐々木あずささんがオンラインの設定や諸準備をしてくれました。

宮田汎道本部会長は、集いの参加者に『特高月報』昭和16年9月分の関係分をコピーして配りました。この『特高月報』では菱谷さんら生活図画関係者への弾圧を、「北海道プロレタリア絵画運動の検挙」として24人を列挙しています。『プロレタリア絵画』等とは全くののち上げだ」と菱谷さんはあきれていました。

恨みの日 9月20日を忘れない集い

生活図画事件81年 菱谷良一さんを励ます



(580号付録)

北海道版 No.478

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
北海道本部

編集発行人 宮田 汎

〒065-0018 札幌市東区北18条
東15丁目3-6プランワールF101号

電話 011 (374) 8280

FAX 011 (374) 8281

郵便振替・02740-7-24209



江別支部結成総会

2年間で
会員倍加

10月1日 江別支部結成

歌代支部長、倉本事務局長選出

10月1日、江別支部の結成総会が、市内の野幌公民館で、会員17人が参加して開催されました。札幌支部江別班は36人の会員で2020年11月18日発足し、この2年で会員を倍増、70人となり、支部結成の運びとなりました。

総会では、歌代英蔵班長の開会挨拶に続き、倉本昭孝事務局長から次の経過報告がありました。

札幌支部江別班として2年、平和と暮らしを脅かし「戦前の様相」を呈しているなかで、これらに抗う組織として、地域により密着し、もっと機動力の発揮できる「江別班」を結成、まずは「数は力」と会員拡大を中心に努めました。この2年、活動の原点である「国賠署名」は昨年5月、420筆、今年5月は530筆。来春50回目の国会請願までには700筆を目指します。

江別市議会へ「治安維持法犠牲者への国家賠償」を求める意見書の採択要請、郷土の犠牲者である「野呂栄太郎」「西田信春」「相沢良」3人の碑前祭にも参加。これらの活動をすすめるために月1回の役員会を定例化し、今秋で23回を重ね、活動の点検、方針等を重ねてきました。

昨春来、映画「わが青春つぎる」とも「上映運動へ、市内の6民主団体に呼びかけ「上映実行委員会」を立ち上げ、6月18日の上映会には267名が来場、「感動と共感・勇気を貰った」と多くの感想が寄せられました。

今後の運動方針を次の通り確認しました。

- ①道本部1300人の目標達成の為に3ヶ月の江別支部をめざす。
- ②来年、50回目の国会請願行動へ700筆の署名を。
- ③顕彰活動として、近隣の碑前祭への参加。
- ④学習活動。
- ⑤「不屈」江別支部版の発行。
- ⑥世代交代で運動の継承を。
- ⑦他団体との協力共同の取り組みを進める。

署名続々と300筆 年内に目標過半数を「不屈」に用紙折込み訴え

北見支部

北見支部では「不屈」8月号に署名用紙を折り込んで発送しましたら、次々と署名が戻ってきています。Iさんは知り合いの前市議などに訴え10筆。Aさんは15筆、更に50筆。Mさんは15筆。Oさん

（「不屈」北見支部9月号より）

⑧「わが青春」上映を近隣市町へ。選出された支部役員は次の通り。

支部長	歌代 英蔵
事務局長	倉本 昭孝
機関紙担当	森好 勇
財政	大橋千鶴子
	甲斐 郁美

歌代新支部長は「三ヶ月の支部を目指そう」と決意を述べました。横山博子・道本部事務局長が支部結成の祝辞を述べました。

増子捷二・札幌支部長が連帯と激励の祝辞を述べ、ミニ学習として治安維持法の歴史を語り、「わが青春つぎる」とも「上映運動の意義を強調しました。最後に、小林多喜二追悼の歌「レクイエム」を独唱、参加者から感動の拍手が送られました。

多喜二の親友 大月源二を紹介 「不屈」小樽後志版

「不屈」小樽後志版8月・9月・10月の3号にわたって、多喜二の親友で、画家の大月源二の略歴を紹介しています。大月源二は、多喜二の新聞小説に挿絵を描き、山宣の柩を担ぐ人々を描いた「告別」で知られています。また作品「走る男」は、獄中の多喜二を描いたもの、と北大名誉教授・上野武治氏の解釈もあって話題を呼びました。

「国葬」反対集会

同盟も参加し小樽で百名

9月11日、小樽市では、小樽地区労総連合など5団体の呼びかけで安倍元総理の「国葬」に反対するスタンディング集会が行われ、同盟支部も同盟旗を高く掲げて大黒和夫支部長らが参加しました。集会には100名が参加し、「国葬に反対する決議」が採択され、岸田首相に送付されました。また、その場で国会請願署名も20筆が寄

「学びたいです。『わが青春』見ました」 入会のハガキ道本部へ

9月初め、道本部へ「入会します」と女性の方からのお葉書が届きました。「映画『わが青春』観ました。伊藤千代子の生涯」観ました。学びたいです。」と書かれていました。十勝・芽室町の方です。本当に嬉しいですね。

元赤井川村議・吉岡光男氏 入会

渡辺節子さん訴え

余市町の「わが青春」上映（10月23日13時半）実行委員会、近隣町村にも参加を呼び掛けています。渡辺節子小樽後志支部幹事が元赤井川村議の吉岡光男さんに協力をお願いし、その折、同盟への入会も訴え、同村初の会員となって頂きました。

優しくさと思いやり 衝撃から立ち上がる決意

千代子「獄中最後の手紙」を見て

苦小牧の「千代子獄中最後の手紙を見る会」に、8月28日、北見から佐々木秀之さんと澤村恵津子さんが駆け付けました。「封緘葉書の表裏びつしりと浅野の母や妹への優しさと思いやり。自分への強いこころざしに改めて感激し、地しほりの花」を見つけた時にはホッとして涙がでてしまいました」（澤村）

「夫・浅野晃の変節という衝撃から立ち上がった決意を目の当たりにし、千代子の生き方に心迫るものがありました」

国賠署名の目標と達成状況

2022年10月1日現在

支部名	団体署名		個人署名		
	目標数	到達数	目標数	到達数	到達率
札幌	400	5	7300	243	8%
小樽後志	50		1500	70	4.6%
道南	150		1500	185	12.3%
室蘭	30		500	10	2%
道北	300		3000	40	1.3%
十勝	100	5	2000	178	8.9%
釧路	150		2500		0%
南空知	50	7	1500	320	21.3%
苫小牧	80	1	2000	100	0.05%
北空知	60		1500		0%
北見	70	5	2500	300	0.12%
江別	50		700		%
道本部	50		1000		%
合計	1540	23	27500	1446	4.6%

集会・催し案内

10月10日(月)13時半〜第37回十勝支部総会

於・とかちプラザ403号室

10月23日(日)13時半〜「わが青春」

上映会

於・余市中央公民館

10月28日(金)映画会

10時半「われ弱ければ矢嶋楯子伝」

13時半「母―小林多喜二の母の物語」

於・旭川市民文化会館

12月8日(木)

アジア太平洋戦争開戦81周年街頭宣伝。札幌、小樽等各地

2022年第42回治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟北海道本部大会運動方針案

はじめに

岸田自民、公明政権による改憲、ウクライナロシア侵攻を口実に大軍拡、戦争する国づくり、コロナ感染拡大の無策、国葬、統一協会問題など矛盾を深めている政治、社会に対して、平和、いのちを守り、一人も取り残さない政治への願いが大きく広がっています。

日本共産党創立100周年記念講演で改めて治安維持法下での先達の不屈の戦いが語られ、治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟の存在と運動、役割が重要になっていきます。

第40回全国大会で、新しい時代に進むために同盟の存在は不可欠と強調され、

「二つの運動目標」と「4つの活動の基本」が提案され、満場一致で採択されました。

「二つの運動目標」は

1、治安維持法犠牲者に対する謝罪と賠償を実現すること

2、治安維持法犠牲者等が平和と民主主義のいしづえを築いた功績の顕彰措置を実現すること

「四つの活動の基本」は

1、2020年代の早い時期に数万人の会員を擁する同盟目指して、会員に拡大、支部の結成をすすめること。

2、国会請願署名は自主目標36万筆の達成とすべての地方議会での「治安維持法犠牲者に対する国の謝罪と賠償の法制化を求める意見書」採択の陳情、請願の運動をすすめる。

3、治安維持法犠牲者等の一人も取り残さない発掘と名簿化―顕彰の活動を強めてその成果を「平和と民主主義のための闘いと抵抗の歴史の記憶遺産」として後世に伝える活動をする。

4、会費の100%納付をはじめ出版物の普及、募金活動の強化など諸活動を支える財政を確立する。

「二度と再び暗黒の政治を許さない」治安維持法同盟の役割は新しい時代を迎えるために不可欠の同盟の存在意義を堅持し、その期待に応えるために奮闘しなければなりません。

「1300人同盟北海道を実現するために」

同盟北海道の日常活動を旺盛に取り組みます。

支部の掘り起こし顕彰活動、碑前祭など粘り強く取り組まれています。道本部、支部が一体となって継続、啓蒙活動に取り組めます。

小林多喜二没後90年、集産党事件95年、人民戦線事件85年を迎えます。道本部、支部が一体になって、学習会、集会の開催をすすめます。

「伊藤千代子の生涯」上映運動は北海道実行委員会を中心に、各支部の大奮闘ですべての上映会は成功、感動と共感をひろげています。引き続き全道各地での上映運動をすすめます。

「3・15大弾圧記念集会」はその歴史を踏襲し、学園、職場、労組、他団体との交流、共闘を積極的に進め、工夫を凝らし実施します。

これらのすべての活動を同盟建設、会員拡大を一体に取り組みをすすめます。「規約」を離さず、「規約」に基づく学習活動、日常活動の強化

「来年50回を迎える「国会請願行動」を成功させるために」

・各支部の目標達成にむけて、各団体への協力要請、宣伝行動など草の根の署名活動を行います。

「支部の空白行政区」をなくします。

10月1日、江別支部結成、

宗谷、稚内空白克服の実現、日高支部の再建。

札幌の区ごとの支部結成、

「女性部の活動強化」

道本部として独自活動をすすめます。他女性団体の共同、協力の強化
全支部に女性部を確立、南空知の女性部活動を学びましょう。

「青年部の結成めざす」

「国葬反対」「青年向けの支援活動の実績からその可能性はひろがっています。民医連、事業所と共に協力、共同の運動を職場、学園に民主青年同盟との共同の取り組みをひろげていきます。」

「意見書採択自治体をひろげる」

北海道に対しても要請をおこなう。

「自治体として顕彰活動を、国民運動として共同事業として取り組むよう旺盛な働きかけをすすめる」

長沼町 野呂栄太郎碑前祭、町教育長参加、管内自治体首長議長のメッセージ。

旭川市 今野大力祭 社会教育部長参加

「治安維持法」とはの同盟学校の開催

「ブロック会議の開催」

新入会員の参加

「全国女性交流集会」

「ホームページの開設」

「道本部体制の強化」

事務局体制の強化

「不屈」の発行 編集委員会の設置を。

「活動促進ニュース」の発行、事務局内に担当者を配置する。

「世代交代、継承活動の強化」

「財政活動」

会費は同盟員の「暗黒の時代」を再び許さないの想いを寄せていただくものとして年度内にかつ早期に納入の努力をする。

支部の財政活動の強化。

大会開催について諸事情で未定ですが、議案に対して忌憚のないご意見をお寄せください。